

第3回 公共施設あり方検討市民会議（概要）

- ◆開催日時 平成26年2月19日（水）18時00分～20時00分
- ◆開催場所 舞鶴市政記念館ホール
- ◆委員 [出席] 尾上座長ほか7名
[欠席] 1名
- ◆傍聴者 6名
- ◆報道機関 1社
- ◆次第
 1. 開会
 2. 第2回会議の内容と第3回会議の概要
 3. 議事
 - ①評価結果のまとめと見直しの方向付け
 - ◆高齢者福祉施設 ◆保健施設 ◆障害者福祉施設
 - ◆社会福祉施設 ◆スポーツ施設
 - ◆レクリエーション・観光施設 ◆保養施設
 - ◆小学校 ◆中学校 ◆保育所
 - ◆幼稚園 ◆庁舎等 ◆消防施設
 - ◆産業系施設 ◆公営住宅 ◆廃棄物処理施設
 - ◆斎場 ◆公設地方卸売市場
 - ②公共施設再生基本計画の構成について
 4. 閉会

◆第3回 公共施設あり方検討市民会議要旨

第3回会議では、用途別に公共施設の現状と見直しの方向性をまとめた「公共施設の実態と見直しの方向付け（素案）」（高齢者福祉施設等の18群）について及び公共施設再生基本計画の構成について市より説明した。

これらの説明に基づき、委員による意見交換を行った。

◆議事（市からの説明）

①評価結果のまとめと見直しの方向付け（素案）

・保健福祉系施設（高齢者福祉施設）

高齢者福祉施設は高齢者の生活を支える施設であり、今後さらなる高齢化の進行が想定される中で、重要な施設である。

老人憩いの家など高齢者の生きがいがづくり支援施設で、近接する類似施設等との機能が重複するものは、機能集約を検討する。

安岡園、デイサービスセンター等については、民間部門との役割分担を考慮し、効率的なサービス提供のあり方を検討する。

・保健福祉系施設（保健施設）

保健施設は、住民の健康的な生活を総合的にサポートする機能を持ち、他に同様のサービスが提供できる施設も無いため、公的サービスとして必要不可欠な施設として現機能を維持する。

・保健福祉系施設（障害者福祉施設）

障害者福祉施設は、身体、知的発達、精神に障害を持つ人々に対して自立を支援する福祉サービスであり、公的なサービスとして不可欠であることから、現機能を維持する。

・社会福祉施設

5つの市民交流センターは、地域のコミュニティ活動の拠点施設として重要な役割があり、現機能を維持するが、他の施設で提供するサービス内容と調整を図り、地域の特性に応じたサービスを提供する。

・スポーツレクリエーション施設（スポーツ施設）

スポーツ施設は、市民の健康増進と体力の向上を促進するための重要な施設であり、各施設が提供しているサービスの維持・充実を前提に、利用実態をふまえながら施設のあり方を検討する。

・スポーツレクリエーション施設（レクリエーション施設・観光施設）

レクリエーション施設・観光施設は、交流人口の拡大のために必要不可欠な施設であるが利用状況が比較的悪いため、利用促進の取り組みを実施し、役割分担や機能補完など効率化に向けた対策を検討する。

・スポーツレクリエーション施設（保養施設）

保養施設は大浦ハイランド1施設のみであるが、利用者が減少傾向にあることから需要の検証等により、公共サービスとしてのあり方を検討する必要がある。また、昨年台風で被災し、再開には多額の費用を要することから、施設のあり方について検討する。

・学校教育系施設（小学校）

小学校は、児童数の減少に応じて統廃合を実施してきた。今後の児童数の減少によっては、さらなる統廃合も無いとは言えない。小学校のあり方について

は、「舞鶴市学校施設整備計画」に基づいて、維持管理・運営・再生等について検討する。

- ・学校教育系施設（中学校）

中学校においても、生徒数に応じて統廃合を実施してきた。中学校のあり方についても、「舞鶴市学校施設整備計画」に基づいて、維持管理・運営・再生等について検討する。

- ・子育て支援施設（保育所）

保育所は共働きの子育て世代には必要不可欠なサービスであり、少子化の状況や共働き家庭の割合等も考慮しながら、新しいニーズにも対応し、適切な質と量の保育サービスを提供することが必要である。東保育所・東乳児保育所・南乳児保育所の機能統合について計画的に整備を進め、中保育所・西乳児保育所の2施設は、地域性を考慮し、現機能を維持する。

- ・子育て支援施設（幼稚園）

幼稚園は舞鶴幼稚園の1施設である。少子化の進行、幼保一元化の動向、保育ニーズの多様化を見据え、隣接する西乳児保育所との関わりも含めて、総合的に検討する必要がある。幼稚園のあり方については、「舞鶴市学校施設整備計画」に基づいて、維持管理・運営・再生等について検討する。

- ・行政施設（庁舎等）

庁舎は通常時の行政拠点であると共に災害時における拠点であるため、計画的に維持管理・補修・更新を進める。

- ・行政施設（消防施設）

消防施設は、火災発生時の消火活動のみならず、災害発生時の救援・救急活動においても重要な拠点であり、現状施設を計画的に維持管理する。

- ・産業系施設

産業系施設は商工観光センターの1施設であり、災害時等の拠点としても活用可能であり、他の用途にも柔軟に対応することも含め、施設及び設備の有効活用を図る。

- ・公営住宅

公営住宅については、「舞鶴市公営住宅等長寿命化計画」において、概ね現状規模の住宅を維持することとされている。その中で浜団地等5団地は一部廃止を含む廃止、上安団地等3団地が統合と位置づけられ、その他17施設は長寿命化を図るものとされている。今後の公営住宅のあり方については、「舞鶴市公営住宅等長寿命化計画」の見直しや更新により、維持管理、運営、再生について検討する。

- ・その他施設（廃棄物処理施設）

廃棄物処理施設は、市で唯一のサービスを担い、重要な施設群であり、計画的に維持管理する。現在のサービスを継続して提供することを前提に、運営の見直しや設備更新など効率的な運営やコスト縮減に向けた対策を検討する。

・その他施設（斎場）

斎場が果たす役割は公共サービスとして不可欠であり、市が責任をもって運営する必要がある。計画的に維持管理・補修・更新を行い、継続してサービスを提供する。

・その他施設（公設地方卸売市場）

公設地方卸売市場は、昨年7月より民間企業に貸付処分実施済みであり、今後は他の普通財産と同様に、計画的に維持管理・補修を行う。

②公共施設再生基本計画の構成について

《舞鶴市公共施設再生基本計画構成（案）》

- ・公共施設の現状と課題
- ・公共施設再生基本計画における基本的な考え方
- ・施設評価結果と再生計画における方針
- ・施設再生のための手段
- ・計画実行に向けた取り組み

◆質疑・応答及び意見交換（○…質問 ⇒…回答 ◎…意見）

【公共施設の実態と見直しの方向付けについて】

○障害者福祉施設は、身体障害者福祉センターと障害者総合支援センターがあるが、これら二つの施設を集約することは可能か。（副座長）

⇒過去の経緯から二つの施設に分かれているが、集約することは可能であると考えられる。（事務局）

○社会福祉協議会は民間組織としながら公共施設と位置付けられているが、どのような状況なのか。（副座長）

⇒市の施設の使用を社会福祉協議会に許可している状態である。本計画では、公共施設の機能に着目しているため、計画の対象外としている。（事務局）

◎スポーツ施設に関連し、柔道場や弓道場については、特定の市民による利用であり、利用実態を検証し、公的サービスとしてのあり方を検討すると記載されており、利用者に相応の負担をお願いすべきだとは思いますが、少数の利用者にすべての経費を負担させることは現実的には困難であると考えられる。市内の学校施設に、市民に開放された弓道場等を配置できるよう交渉するなど、様々な手法を検討することが必要ではないか。（副座長）

◎柔道場について、文化公園体育館にも柔道場があり、類似施設が存在するため、集約化してもよいのではないか。（委員）

○廃校となった小学校・中学校については、建物を取り壊すのか。（委員）

⇒取り壊すことが決定されているわけではない。廃校となった小学校・中学校は、現在、暫定的に地域活動等に利用されている。今後、地域の皆様のご意見も伺いながら、最終的な方向性を検討していきたい。（事務局）

- 廃校となった小学校・中学校について、耐震化は実施されているか。(委員)
⇒青井小学校のみ耐震化が未実施であるが、他の学校はすべて耐震化が実施されている。(事務局)
- 避難場所となっている小学校が浸水の危険があるとの記載があるが、その地区の市民はどこに避難すればよいのか。(委員)
⇒舞鶴市が作成しているハザードマップに基づき浸水の危険性について記載している。実際浸水が予想される災害の場合には、他の安全な避難場所へ誘導するなどの対応を行う。(事務局)
- 「舞鶴市学校施設整備計画」、「舞鶴市公営住宅等長寿命化計画」はいつ策定されいつまでの計画なのか。(委員)
⇒「舞鶴市学校施設整備計画」は、平成25年9月に策定された今後10年間の整備計画である。「舞鶴市公営住宅等長寿命化計画」は平成22年に策定された5カ年計画であり、平成26年度に見直す予定である。学校施設及び公営住宅は、特定の目的を持った施設群であり、以前から年次計画を立てて施設整備を行ってきた経緯がある。(事務局)
- 公営住宅に指定管理者制度を適用することは考えられるか。(委員)
⇒公営住宅の維持・管理については、府営住宅においてPFI導入の事例もあることから、そうした可能性も視野に入れながら検討する必要があると考えている。
(事務局)
- 庁舎については、本庁、西支所、加佐分室の3施設があり、通常の行政拠点としてだけでなく、災害時の拠点としても機能すべきと記載されているが、災害時の拠点とすると高コストになるのではないかと考える。災害時の主な対応が本庁で行われるのであれば、西支所、加佐分室に災害時の拠点機能を持たせなくてもよいのではないかと。(副座長)
⇒様々な災害のパターンがあり、西支所や加佐分室で災害対応をしていくケースも考えられるため、西支所、加佐分室においても防災拠点機能を維持していきたい。
(事務局)
- ◎舞鶴市は市域が広く、自然災害の種類も様々である。また、市民の生命、財産を守るという視点から公共施設の必要性を考えることも必要であると考えている。そういった点から言うと本庁、西支所、加佐分室という3つの庁舎は必要であると考えている。(委員)
- 他の自治体との比較を行いながら計画案を作成しているのか。(委員)
⇒計画案作成にあたっては、近隣自治体や類似自治体の状況を参考にしている。
(事務局)
- 施設の特性に記載されている投資的経費は、どの時点から10年間及び40年間の経費なのか。(座長)
⇒平成22年度以降10年間及び40年間の将来的な投資的経費の予測を記載している。(事務局)

◎見直しの方向付けの内容は概ね事務局提案のとおりで良いと考える。はっきり方向性を示した施設については、早期に実施に向けた動きを始めることが必要である。(委員)

【公共施設再生基本計画の構成について】

○公共施設再生基本計画の構成については、市民会議の意見は反映されないのか。(委員)

⇒公共施設再生基本計画の構成についても、市民会議の意見を反映する。(事務局)

○この計画の評価と見直しはどのような手法で行うのか。(副座長)

⇒施設の建物状況や利用状況等も変化するため、見直しを実施する時点での現状をよく把握し検証していきたい。(事務局)

◎公共施設再生基本計画と他の計画との関連性について、市民会議においても「舞鶴市学校施設整備計画」や「舞鶴市公営住宅長寿命化計画」との関連性に関する質問が多く出ていることもあるので、丁寧に記載していただきたい。

(副座長)

【その他】

◎赤れんがイベントホールなどでは、備品が十分ではなく、利用者が備品を持ちこむ必要がある。利用促進を図るためにも、備品配備の見直しも必要ではないか。(委員)

◎他市の事例において、廃校施設が演劇練習等の文化活動に有効に利用されている例がある。舞鶴市の廃校施設についても、そのような事も含め積極的に活用していただきたい。(委員)

◎廃校施設の利用については、地元住民の利用だけではなく、広域的に利用していくことも可能ではないか。(座長)

◎建物の中のレイアウトの工夫により、利用者の満足度を向上させたり、効率性を改善させるなどのファシリティマネジメントの視点を持って、公共施設を管理・運営すべきではないか。(副座長)

◎舞鶴の公共施設全体に統一的なイメージを持たせてはどうか。例えば赤れんがなどをコンセプトとした舞鶴らしいデザインで、全公共施設の雰囲気統一するという事も考えてみるべきではないか。(副座長)

◎デザインの統一について、舞鶴らしいデザインで統一することは、大変重要なことだと考える。是非検討していただきたい。(座長)

◎公共施設のデザインについて、良い建築物には「用(使いやすいこと)・強(強度があること)・美(美しいこと)」の3要素が必要であると言われている。機能だけを求めるだけでなく、美しい建物を市民が気に入って、誇りを持って使えるようになれば良いと思う。そういった点も踏まえ、取組を進めていただきたい。(委員)

○機能移転を行った場合などには、単に機能を移転するだけでなく、駐車場や使用

料についても一体的に見直しをかけるのか。(委員)

⇒機能移転する場合には、影響を整理し、駐車場や使用料についても検討していく必要がある。(事務局)

◎利用状況が悪い施設については、本当にニーズが無いのか、立地や設備が悪いのかを精査する必要がある。精査した上で、人口が減少していく状況では、ニーズが無い施設については、一部の反対があっても、機能を残しつつ廃止すべきである。(委員)

◎コミュニティ施設及びその類似施設の配置については、小学校区単位が一つの目安になるのではないか。(委員)

○ニーズ把握の取組について、市としての方針はあるか。(座長)

⇒次年度以降の再生実施計画においては、利用者や関係団体から意見を聞くなどし、ニーズについて把握・検証していきたい。(事務局)

◎学校施設は、体育館、音楽室、会議室等があり、様々な用途に使える施設である。授業時間外に地域に開放するなどすれば、学校施設を核に機能集約を図ることができるのではないか。(委員)